

市議選で公開質問状

宮古島 地下水研 予定候補者に回答求める

宮古島地下水研究会(前里和洋、新城竜一、反利直樹共同代表)は次期市議会議員選挙の立候補予定者40人に対し公開質問状を行う。前里共同代表らが23日、会見を開き明らかにした。32人には質問状を送付済、近日中に全員に届ける。回答は選挙前に公開する。

持続可能な地下水保全と利用、市民や将来世代の健康の実現の一助として、立候補予定者の考えを広く市民に知らせることが目的。研究会は23日現在で会員17人。2018年に設立され、地下水保全に向け水質調査などを実施している。1月の市長選でも提言と公開質問を行った。

質問は9項目。排水処理の条例強化や水道水源保全地域の市全域への拡大、市民や行政から地下水の利害関係者が一堂に会する「地下水循環協議会」設置に向けた検討など研究会の主張に対し「賛成」「反対」「保留」などの3つの選択肢で回答を求め、意見、理由の

記載協力も求める。前里共同代表は「宮古は全国に先駆け地下水保全条例を作った島。産業を守りながら将来にわたって命の水を維持していくため皆で



記者会見を開く前里共同代表(右から2人目)ら研究会員＝富名腰公民館

考えていきたい。全候補の回答を願う」と呼び掛けた。回答締め切りはFAX、メールが10月3日午後6時、郵送は同一日の消印有効とする。無回答者については氏名と共に「回答なし」と公表する。質問内容は同研究会ホームページ(<https://miyakojima-tikasui.com/>)で確認可能。